

資料出典：全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会アンケート調査プロジェクト
～障がいのある人のきょうだいに関するアンケート調査報告書～

障がいのある人のきょうだいに関する資料が届きましたので、一部ですが、当広報誌(1～2面)でもご紹介致します。※注意：資料原本のページ番号順で横に並べて掲載をしております。ご覧の際には5～9までの横並び順でご覧ください。

- (2) 親の対応による課題**
- 1) 愛情不足を感じる人が多くいます。：いつも障がいのきょうだいを優先し、後回しにされる等です。
 - 2) 障がいのきょうだいの世話など、通常のきょうだ以上の世話を負担させられ、友達との交流も含め、通常の子どものような生活ができなくなることがあります。
 - 3) *これは、最近話題の「ヤングケアラー」の一形態です。障がいのきょうだいに困らされても「しよががないこと」と片付けられ、気持ち分を分かってもらえず、困らないような対応してもらえないことが多くあります。
 - 4) 年少時に、障がいのきょうだいを通所させる時や通院させる時に一緒に連れて行かれ、現地では放って置かれて困ってしまうことなどもあります。
 - 5) *お前がしつかりしないよとだめだ」と過度な負担を押し付けられることが多くあります。
 - 6) きょうだいの気持ちに関わらず、進学先や職業などを指示されるなど、無理な期待を負わされることが多くあります。
 - 7) 親に悩みなどを相談できず、相談してもらえないことが多くあります。
 - 8) 親が障がいのきょうだいの世話をできなくなった時にどうなるのか、どうすればいいのかなどを相談しようとしても、聞く耳を持ってくれないことが多くあります。
 - 9) きょうだいは子どもの頃から、自分が家庭を持った時に自分の家族に加えてきた親と障がいのきょうだいを養っていかなければならぬのではないかと、という気持ちをもちやすいのです。制度などを活用すればそのような必要はないことを親から説明してもらえないことが多くあります。
 - 10) 障がいのきょうだいの自立を促すような子育てや対応が足りないことが多くあります。親が障がいのある子供との「共存」になっっている場合もあるようです。
- (3) 障がいのきょうだいの行動などによる課題**
- 1) 暴力を振るわれたり、大事にしているものを壊されたりすることがあります。
 - 2) 大きな声を出すなどのため、落ち着いて勉強ができないことがあります。
 - 3) 家族一緒に外出などの行動に制限が多いです。
- (4) 制度や行政機関などの課題**
- 1) ほとんどの場合、きょうだいの持つ悩みや課題に気がついていません。
 - 2) 障がいの者のための制度が不十分です。
 - 3) 障がい関係部門の担当者の理解・知識が不十分で、相談に対応してもらえないことがあります。

♪ 県育成会のHPにもカテゴリーで掲載中 ♪

手をつなぐ・うちな

知的な障がいのある人と共に

発行所
沖縄県手をつなぐ育成会
那覇市首里石嶺町4-373-1
沖縄県総合福祉センター内
TEL 098 - 882 -5727
FAX 098 - 882 -5720
E-mail: oki-iku@woody.ocn.ne.jp
HP : http://www.oki-iku.com/
発行人 理事長 田中寛
定価 50円(会費を含む)

【目次】

P4	ゆんたく広場・県育成会 他
P3	人事異動報告・理事通信 他
P1～2	障がいのある人のきょうだいに関するアンケート調査(一部ご紹介)

- II 障がいのある人のきょうだいが持つ課題とその解決に向けた提案**
- 今回のアンケート調査の結果を通してみてきてきたことについて、要約し先に述べておきたいと思えます。
- 障がいのあるきょうだいがいることで、辛いことが多い一方、様々な環境や支援によってその辛さや課題を乗り越えることができることが多いということが分かりました。また、障がいのあるきょうだいがいることをプラスにとらえて生きる人もいます。
- * 当会についてのまとめは、この報告書で省略します。
- * これ以降では、次のように表現します。
- ・ 私たちのような障がいのある人のきょうだいのことを・・・「きょうだい」・障がいのあるきょうだいのことを・・・障がいのきょうだい
- う) 又は「障がい者」・医学用語、法制度、名称等で用いられている「障害」は「障がい」とせず、そのまま表記しました。
- ・ 自由記述における表記は、その表記方法が特別な意味を持つと考えられる場合以外、概ね全体と統一した表記とさせていただきます。
- 1. きょうだいが持つ課題**
- 大きな課題は、1) 精神的な不安感、2) 自分の人生を自分で決められないこと(進路、居住地など)、3) 結婚、4) 親亡き後(親が障がいのきょうだいの世話ができなくなった時)などです。
- ☆ きょうだいの多くは、これらの課題に立ち向かい、あるいは自分の状況をプラスにとらえて生きていくということも忘れてはなりません。
- * このまとめでは、このアンケート結果とともに、普段の座談会などで多くのきょうだいが話すことも記載します。(「...多くあります」などと表現します。)
- (1) きょうだい自身の課題**
- 1) 自分以外にも、同じような立場のきょうだいがいることを知らず、多くの人が孤独感を持ちます。
 - 2) 付き合いの中で、多くの人が障がいのきょうだいがいることを隠そうとします。
 - 3) 大事な時(進路や結婚考えたとき等)に、障がいのきょうだいがいるための不安のために消極的になる人が多くいます。
 - 4) 必要な知識をもたないために、対策を考えたり実行したりすることができない人が多くいます。
 - 5) 心の病や不登校などに対応する方法が分からない人が多くいます。
 - 6) 必要以上に家族のことを心配して、自分を追い詰めることもあります。



次のページに続きます。

インクルーシブ教育を含め、十分にふれあうことによつて、自然にお互いを理解することができるのではないでしょう。それは、障がいのない生徒の心の成長や、社会に存在するさまざまな障がいや人の立場について理解するために大切なことだと考えられます。

5) 親に対する支援も必要です。親に対する研修や個別の対応の中で、親の心のケアや制度等の情報の提供、きょうだいについての助言なども必要です。

6) やまゆり園事件では、障がいのある人の生きる意味が問われました。地域の住民などにそのことを理解していただくためには、障がいのある人と地域の人たちが理屈ではなく「自然こふれ合う」ことが大切だと考えます。

☆ある関西の施設の「エンパワーメントの連鎖」の例です。福祉施設の職員が障がいのある人と地域の中に出て行って地域の人たちとふれ合うと、その障がいのある人までもうれしくなり自信をつけていき、彼らと接した地域の人たちも彼らの役に立ったとうれしくなり、それを見ていた職員も、自分がこのような機会を作ったことに誇りを持つ、というように良いことが連鎖していく、というものです。

福祉施設などは、このような形で、公園、商店、公共施設など地域の資源を活用することが、自然に障がい者の居場所づくりにつながるような活動の日々の支援において積極的に実施してほしいと思います。

7) 障がいがある人の生きる意味を色々な人に伝えるためには、障がいのある人たちが自分の生きることについて自信を持つことができるような支援が大切です。6) のように、周りの人達を喜ばせたり、作業などの活動の中で皆に褒められたりすることで自信がついてきます。

これは、障がいのない子ども、大人でも同じことです。

(4) 社会全体として取り組んでほしいこと。

1) 障がいに対する理解の促進と偏見の軽減がきょうだいにとって大切なことです。

2) 親が安心して社会資源を活用できるようになって欲しいです。それに伴って、きょうだいの負担も軽減されます。

3) 親亡き後に、障がいのある人ときょうだいがそれぞれ自立して暮らせるような仕組み作りや制度改善、環境整備をしてほしいと思います。ここで注意すべきことは、理想論ではなく現実合った制度等です。

4) 子どものきょうだいの会を全国各地で作ってほしいです。

☆これから子どもきょうだいの会を立ち上げようという団体には、当会が協力します。

☆現在は当会も含めて若い人を対象とした活動が多くなっており、マスコミなどでも報道される機会が増えています。当会もそれらの活動と連携していきます。

(2) 親の会などで取り組んでほしいこと

1) 親の会としてすでに取り組んでいると思いますが、子育てや制度などの学習をより積極的に行い、障がいのある子供の「自立」に向けた子育てや制度の利用を促すことが大切です。親が障がいのある子供との共依存にならないような、親に対する支援も必要と思われま

このアンケートの回答からは「良い家族像」も見えています。体験談などの親同士の交流や、親の会の会員ではない人へも働きかけて、その家族を支えて欲しいと思います。

2) 私たちきょうだいが講師となる「きょうだい」をテーマにした研修会を開くなど、「親の対応による課題」に記したことを、会員たちに周知して、きょうだいを支援していただきたいと思

3) 小・中学生のきょうだいの会の取り組みをお願いしたいと思

(3) 教育機関や子どもの療育施設、福祉施設・機関等で取り組んでほしいこと

1) 私たちきょうだいが講師となる「きょうだい」をテーマにした研修会を開くなど、各機関がきょうだいの課題を理解して支援していただきたいと思

2) 特に教育機関や子どもの療育施設では、きょうだい(子どものきょうだい)のことを気にかけて、声をかけていただけると、きょうだいの悩みは大きく軽減されます。周りの目を気にせずスクールカウンセラーに相談できる環境づくり等、きょうだいの気が楽に相談できる仕組みが必要

3) 特別支援学校や子どもの療育施設で、きょうだいの見守りや対応したり、きょうだいの会を開いたりしていただきたいと思

4) 教育の中で、障がいへの理解を深める学習や、障がいの自然なふれあいが日常的にできる環境を作っていただきたいと思

(5) 教育 機関や子どもの療育施設、福祉施設・機関等の課題

1) 学校などでいじめられることがあります。(きょうだい自身や、障がいのきょうだいがいじめられます。)

2) いじめのことを相談できる教員や職員がいないか、仮にいても相談しにくい場合がほとんどです。

3) 教員や職員等に、障がいのある人のきょうだいについての情報や理解が足りません。

4) 一般の生徒に、障がいのある人への理解を促す教育や環境が足りません。

(6) 社会の課題

1) 障がい者に対する理解が足りないために、障がいのある本人やその家族(親、きょうだい)に対する差別的な対応をすることがあります。

2) 近所の人に、「君がしつかりして家族を支えるように」などと言われることがあります。

3) 結婚の機会がある時に、相手や、障がいのきょうだいのいることで難色を示すことがあります。相手から理解してくれても、相手の家族が理解してくれない場合があります。

2. 課題の解決・改善のための提案

(1) 当会などのきょうだいの会が取り組むべきこと

きょうだいの課題として取り上げられた課題を軽減・解消するように努めます。

1) 同じ境遇の仲間がいることで、孤独感が解消されます。

2) 体験の語り合い、福祉制度や障がい、精神疾患等に関する知識や対応方法の学習会などで、不安や課題を立ち向かう勇気と情報を共有することができ

3) その他、津久井やまゆり園事件、優生保護法出生前検査などについての学習会等を通して、きょうだいの自身が正確な知識をもち、社会に発信していき

4) 上記の取り組みは、小学生、中・高校生、大学生以上の若者、中高生等、各世代が応じた集まりであることが望ましいです。

5) 特に、子どもの頃(きょうだいの会があれば、今の大人のきょうだい)が経験してきた辛い思いを軽減できます。子どものきょうだいが集まれる場所をつくることは、最優先事項と考え取り組むことが必要

☆当会としては、3年前から東京都足立区のうめだ・あけぼの学園の協力を得てモデル事業「ふうせんクラブ」を実施していま

6) 若い人を対象とした「きょうだいの会活動」も重要

人事異動・新就任

〇沖縄県子ども生活福祉部

※()内前職

★神原 千夏 子ども福祉統括監
(福祉政策課長)

★渡久山 和之

障害福祉課副参事兼
感染症総務課副参事
ワクチン・検査推進課副参事
兼感染症医療確保課副参事
(宮古福祉事務所長兼
中央児童相談所宮古分室
分室長)

★大城 順次 中部福祉事務所長
(コザ児童相談所長)

★宮城 石 宮古福祉事務所長兼
中央児童相談所
宮古分室分室長
(文化観光スポーツ部
観光政策課班長)

★宮城 美那子 コザ児童相談所長
(コザ児童相談所班長)



人事異動・新就任

〇沖縄県教育庁

※()内前職

★上原 源三
総合教育センター所長
(糸満高等学校校長)

★浦崎 達夫
県立学校教育課
特別支援教育室長
(八重山高等学校校長)

〇県立特別支援学校
(新就任)

★大平特別支援学校
古我知 博樹 校長

★西崎特別支援学校
呉屋 光広 校長

★八重山特別支援学校
稲田 洋一 校長

★はなさき支援学校
津波 佳和 校長

★泡瀬特別支援学校
田盛 信寿 校長

★那覇特別支援学校
下地 直子 校長

★森川特別支援学校
岩崎 政志 校長



販売期間：5月28日～8月10日

長崎・島原名産 島原手延そうめん販売



沖縄県手をつなぐ育成会チャリティー実行委員会よりご案内です。

今年も5月28日から島手そうめんのご注文受付を開始致しますので、ご注文の際は各市町村親の会、施設父母の会など、また沖縄県手をつなぐ育成会までお問い合わせください。
※販売収益は県育成会へ寄付を行います。

商 品 名		小 売 価 格	販 売 価 格
島原の 細糸	HS-40	4428円	3000円
	HS-30	3348円	2200円
島原小町	ES-33	3672円	2700円

理事通信

令和4年度を振り返って

理事 下地 利恵子



令和4年もコロナに振り回せながら始まりましたね。最初のワクチン接種の時は怖がっていた利用者も2回目、3回目となると平気になっていました。那覇市の事業所が協力している空き瓶分別作業も、コロナ感染で休む事業所もありましたが、補充しながら進めることが出来ました。イベント行事も、まだ中止の行事、縮小して行う行事など、以前に戻りつつあるのかな、まだまだこれからだな、と思われる事もありました。

10月に行う赤い羽根募金、12月に行う歳末助け合い募金も、人前で大きな声を出してはいけないことから、何とか工夫をしつつ、毎年行う行事ですので、それは中止にはしませんでした。

運営する事業所「ゆいまーる」でショックだったことは、利用者の父親が、8月に突然死されたとの連絡があり、本人もとても驚いていました。その後9月に入り、本人も元氣を取り戻し作業をしていました。

しかし、「明日は7時半に迎えるね」と約束をした翌日、本人が朝起きてこないと家族から連絡があり、突然死の連絡・・・事業所全員でご本人にお別れをさせて頂きました。

年が明けて、2月にゆいまーる当初から理事をして頂いていた利用者の父親が病氣療養後に亡くなり、また、自身の母親も2月で102歳で永眠しました・・・令和4年度は、人生で初めて悲しみの多い年でした。

田中理事長のゆんたく広場



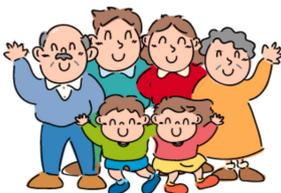
3年ぶりに対面式で開催された九州地区手をつなぐ育成会連絡協議会会議が、4月に福岡市にて開催されました。

新任の会長や懐かしい顔と触れ合いは、心が弾むといふ表現とは異なり、九州の表裏という広範囲に亘った地域の中に、同じ志を持つ仲間がいたり、心がつながる安堵感があり、距離を保つことを半ば強いられたコロナ禍の中において、リモート(ネット)による業務や会議が推奨されることにより、新しい経済効果が生まれるという新しい経済効果がな空間による社会生活弱者への虐待行為が見逃される不安感や危機感も増えました。求め合う育成会の活動の原点である親の会が活動の減少による機会が激減したことに、全国的な会員の減少が

『手をつなぐ・うちな〜』編集者

理事長：田中寛
沖縄県手をつなぐ育成会事務局

目立ち始めているのが気がかりです。日本では、ラグビーの精神論として思われている「一人はみんなのために」という言葉は、一人ひとりの小言の三銃士、誓いの言葉が、一人ひとりの言葉が、全体のために尽くすことになり、結果として、一人ひとりが得ることになる」といふアジズム(全体主義)なのはその主義の良し悪しはともかくとして、共に支え合える思いだけは、大切にしてほしいのです。



『手をつなぐ』配布募集

機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・各地育成会の活動、また特集コーナーで、教育・福祉・就労・医療等の最新の情報がわかりやすく掲載されています。お申込みご希望の方は、**育成会まで一度ご連絡下さい。**
*年間購読料 3,900円



県育成会行事報告4月

- ☆4月14日(金) 県育成会事務局内 第1回活動支援委員会
- ☆4月21日(金) 福岡市 第1回九育連会議
- ☆4月27日(木) 県育成会事務局内 県育成会会計監査
- ☆4月28日(金) 県育成会事務局内 県育成会第1回3役会

県育成会行事予定5月・6月

- ☆5月9日(火) WEB会議 ゆうあい2者運営話し合い
- ☆5月11日(木) 県総合福祉センター 県育成会第1回理事会
- ☆5月24日(水) WEB会議 ゆうあい第2回実行委員会
- ☆5月28日(日) 県総合福祉センター 令和5年度定期総会
- ☆5月28日(日) 県総合福祉センター 臨時理事会

「沖縄県手をつなぐ育成会定期総会」
★日時場所：5月28日(日) 13時より受付・13時半開会

沖縄県総合福祉センター
ゆいホール

沖縄電力株式会社様より協賛金を頂きました

沖縄電力株式会社様より、永年ご支援頂いており、誠にありがとうございます。この度は、ご協賛金を頂きました。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。

♪DVD販売のご案内♪

全育連の権利擁護センター・年金チームでは、各地で年金学習会を実施するため、DVD「教えて！障害基礎年金」を販売しています。

- ★プログラム
 - ①講義「障害基礎年金の基本の『き』」
 - ②座談会「社会保険労務士さんに『ここ』を聞いてみよう」

★価格・送料
説明用DVD・資料収録CDセット 450円(税込) +送料102円
※送料は1セットごとに発生します。
※沖縄県手をつなぐ育成会にお申し込みをお願い致します。



令和5年度賛助会員

〜 敬称略 〜

個人 田久保 康之(10口一万円)
平安山 あゆみ(2口2千円)

誠にありがとうございます☆

賛助会員 加入のお願い

- ★賛助会員 個人：1口 千円
- ★団体会員 企業・団体：1口 五千元
- ★琉球銀行・石嶺支店(普) 444100
- ♪連絡先：沖縄県手をつなぐ育成会
- TEL 098(882) 5727

♪申込書は県育成会HPからもダウンロード可能です。是非ご利用下さい。